

平成 2 9 年 第 2 回
京 田 辺 市 議 会 定 例 会

一 般 質 問 (質 問 項 目 ・ 要 旨)

傍 聴 用

京 田 辺 市 議 会

6月定例会一般質問日程

月 日	通告順位	議 員 名	ページ
6月9日 (金)	1	い ち だ ひ ろ し 市 田 博 (一 新 会)	1
	2	お か も と り ょ う い ち 岡 本 亮 一 (日本共産党京田辺市議会議員団)	3
	3	さ く ら い た つ し 櫻 井 立 志 (公 明 党)	5
	4	な ん ぶ と し こ 南 部 登 志 子 (無 会 派)	7
6月12日 (月)	5	こ ば や し き よ し 小 林 喜 代 司 (みらい京田辺)	9
	6	か わ だ み ほ 河 田 美 穂 (公 明 党)	10
	7	ま す と み り つ こ 増 富 理 津 子 (日本共産党京田辺市議会議員団)	11
	8	に し は た と し ひ こ 西 畑 利 彦 (日本共産党京田辺市議会議員団)	13

月 日	通告順位	議 員 名	ページ
6月13日 (火)	9	あおきこうじろう 青木綱次郎 (日本共産党京田辺市議会議員団)	15
	10	よこやまえいじ 横山榮二 (日本共産党京田辺市議会議員団)	17
	11	つぎたのりこ 次田典子 (無 会 派)	19

※質問時間は、質問答弁併せて60分以内としています。

<p>1 コンパクトシティ構想の進捗状況と現状について</p>
<p>田辺中央北側地区のまちづくり事業として、補正予算を組まれている。新市街地整備に向けた基本構想の作成、事業手法の検討や当該事業の効果、検証を行うとされているが、具体的にはどのような手法、青写真を掲げられているのか問う。</p>
<p>2 新名神開通に伴う効果と大住地区の道路網におよぼす影響について</p>
<p>(1) 府道八幡木津線の拡幅及び渋滞緩和策の進捗状況は。 (2) 新名神高速道路下の側道の整備計画は。 (3) 北部地域の道路網の渋滞緩和策は。</p>
<p>3 大住工業専用地区の現状と進捗について</p>
<p>(1) 大住工業専用地区の組合設立に向けた現況について問う。 (2) 一級河川防賀川の改修は。</p>
<p>4 子育て支援について</p>
<p>今後の子育て支援策と待機児童に対する解消方法についての市の考えを問う。</p>
<p>5 バス交通について</p>
<p>バス交通の現状において、市民が改善を求めている現状は把握できているのか。</p>

6 市街化地域の空き地〔駐車場〕利用について

市街化住宅地域における、空き地〔駐車場〕利用者への指導と道路整備についての市の対策は。

7 防衛施設に係る市町村交付金の使途について

普賢寺地域の要望（インフラ整備）等の対応について問う。

1 消費税増税と社会保障について

- (1) 国は2014年4月より消費税率を8%へと引き上げた。消費増税により市民の暮らしや中小企業の営業に与えた影響について、市長の認識を問う。
- (2) 国は「消費税増税はすべて社会保障のために使う」としたが、実際は充実どころか改悪の連続である。そもそも消費税は景気を冷やし、低所得者ほど負担が重い税であり社会保障にふさわしくない。また、一部の大企業を優遇する政策であり、さらなる経済の悪化を招くと考えるがどうか。
- (3) 消費税10%への引き上げが2019年10月に「先送り」されたが、市民の代表である市長が国に対し、消費税増税中止の意見表明をすべき。

2 子ども施策について

- (1) 年度当初において、公立保育所に入所できない待機児童が140人発生した。安心して働き、子育てができるよう下記の点を問う。
- ア 年度当初に待機児童が発生した原因及び、市の認識を問う。
- イ 市は不承諾通知書を172人に送付された。その後、保育士を何人確保し待機児童が何人解消されたのか。また、待機児童解消に向けての進捗状況を問う。
- ウ 待機児童を解消するためには保育士の確保が欠かせない。保育士の賃上げと職員配置基準の処遇改善を国に求めるべき。

(2) 全幼稚園の保育室にエアコン設置を

ア 幼稚園のエアコン設置については、「現場の声を聞きながら検討する」とのことだが、具体的にどのような声があり、どう検討されたのか。

イ 早期に設置すべきと考えるが、今後の設置計画を明らかにされたい。

1 介護予防対策について

- (1) 本市が進める高齢者いきいきポイント事業の現状と課題について問う。
- (2) 本年4月からスタートした新しい総合事業における訪問型サービスAの従事者を養成し、市が行う研修修了者が高齢者の生活をサポートする制度の概要と今後の進め方を問う。

2 産後うつ・ケア対策について

- (1) 厚労省は2017年度から、産後うつを予防するため、産婦健康検査事業を実施し、産婦健診費用の助成を行っている。本市も導入の考えは。
- (2) 厚労省は上記事業と併せて、2017年聴覚障害の早期発見・早期療育が図られるよう都道府県内に新生児聴覚検査の推進体制整備を行い、市町村が実施する新生児聴覚検査の公費助成を支援する予算措置を行っている。本市も聴覚検査の助成をする考えは。

3 防災拠点と避難所整備について

- (1) 本市は大規模災害を見据えた防災拠点の設置に向け、本年より整備を進める。現在のところ、その機能についてどのように考えているのか。
その中には、仮設住宅設置も視野に入っているのか。
- (2) この防災拠点以外の場所のどこに仮設住宅の設置を考えているのか。
仮設住宅設置となれば、1年、2年と長期にわたることも予想され、電気、上下水道などのインフラの整備も必要と考える。市有地のなかで、そのような土地をあらかじめ用意しておくべきと考えるが。

(3) 防災公園 2 か所に災害時に備えマンホールトイレの下水管整備を行っている。もう 1 か所の諏訪ヶ原公園にも整備すべきではないか。

また、広域避難所に指定されている学校にこそ整備すべきでは。

(4) 災害時、学校のプールの水の利用は重要であると考えているが、その活用のための備えはできているか。

<p>1 東アジア情勢について</p>
<p>(1) 緊張高まると言われている東アジア情勢について、市長の認識を問う。</p> <p>(2) 北朝鮮からの飛翔体について、市長と教育長に対応策を問う。</p>
<p>2 介護の課題</p>
<p>(1) 居宅訪問ヘルパー相談窓口の開設を。</p> <p>(2) 居宅訪問ヘルパーの労働実態の把握に努めよ。</p> <p>(3) 40歳～50歳代のセルフネグレクトによる介護需要が増加している。市の認識と対応策について問う。</p> <p>(4) 介護住宅の需要が高まっている。市として介護住宅建設の促進を。</p>
<p>3 普賢寺地域の課題について</p>
<p>(1) 普賢寺幼稚園から普賢寺小学校へと進学する地域外通学者数の推移を問うとともに、それぞれの進学動機について、教育委員会はどうのように把握しているのかを問う。</p> <p>(2) 学童保育の必要性について、教育委員会の認識は。</p> <p>(3) 地域人口を増やすための努力を求める。</p> <p>(4) デマンドタクシーの導入を。</p>
<p>4 スポーツ施設の改善を</p>
<p>(1) 体育館とプールを相互利用できるように、共通券の発行を。</p> <p>(2) 障がいのある方も利用できるように、バリアフリー化の促進（トイレの全面改修も含める）を求める。</p>

南部 登志子

(3) 障がいのある方が利用できる更衣室の設置を求める。

1 通園、通学時の安全対策について

- (1) 児童の通園および通学路の安全対策については、「通学路安全推進会議」を開催して対策を実施してもらっているが、未整備の箇所今年度の整備予定と今後の計画について。
- (2) 「通学安全整理員」を現在、登校時に13人、下校時に5人配置されているが、増員をして児童の安全確保を図る必要があるが、市の考えは。
- (3) 児童に安全策として「笛」を配布しているが、防犯ブザーの配布を要望される声が出ているが、市の考えは。
- (4) 通学時間帯に田辺本町付近の府道八幡木津線の大型車の交通規制について、今後の見通しは。

2 農業用溜池の安全管理について

市内の農業用溜池の安全管理については金網（等）で安全対策を実施されているが、全く安全対策が行われていない農業用溜池が残っている。安全対策が必要との声が出ているが市の考えは。

3 天津神川の整備の見通しと安全対策について

市の中央地区の中心市街地を流れる天井川の天津神川の整備については、京都府も早急に整備が必要な河川に指定されているが、今後の整備計画とその見通しについて。

1 待機児童問題について

- (1) 新設された「輝くこども未来室」の役割と取り組みは。
- (2) 保育士の確保策は。
 - ア 任期付き職員の年齢制限緩和。
 - イ 臨時職員への研修の強化。
 - ウ 市独自の奨学金制度設置など。
- (3) 保育室の確保策は。
 - ア 幼稚園・小学校などの空き室の利用。
 - イ 公共施設の利用など。
- (4) 待機児童のため、ファミリーサポート・認可外保育施設・一時的保育事業などを利用される時に助成をしては。
- (5) 家庭的保育、小規模保育、居宅訪問型保育など、地域型保育も考えるべき。

2 子育て支援について

京田辺版「子育てガイドブック」の進捗状況は。

- (1) 会議ではどのような意見が出ているのか。
- (2) 配布予定など。

3 防災・減災対策について

- (1) 地域の防災力を強化していくためには。
 - ア 自主防災組織の設立。
 - イ 避難所運営訓練の実施など。
- (2) 防災・減災対策に女性の視点を取り入れるべき。

1 入学準備金支給時期初め就学援助制度の改善と拡大を

- (1) 国の新年度予算で、生活保護及び同等の所得水準の要保護世帯の就学援助費のうち、新入学生徒の入学準備費用の補助単価が2倍に引き上げられた。小学校では2万470円から4万600円に、中学校では2万3,550円から4万7,400円となる増額の活用をいつから進めるのか。また、就学援助を受けている準要保護世帯にも適用すべきと考えるが市の考えは。
- (2) 入学準備金の支給時期について入学前の適切な支給を、と求めてきたが、既に全国で125自治体で入学前に変更と報道されている。入学準備金支給を入学前の適切な時期にできない理由を改めて聞く。あわせて子どもの貧困施策に有効と思われる入学前支給であると思うが市の考えは。

2 介護保険制度と地域ケアシステムについて

第6期介護保険計画も残り1年。国の方でも次期の計画づくりに向けて様々な論点が示されている。介護保険制度の根幹である福祉と社会保障としての役割を守っていく、そういった立場から次の3点について問う。

- (1) 第6期介護保険計画について、到達と今後1年で重視していく点について問う。

総合事業に移行して1年になるが、取り組みと課題は。

- (2) 第7期介護保険計画について

ア 検討スケジュールを問う。

イ 介護保険料は高齢者にとって負担の限界にきている。これ以上引き上げるべきでないと考えますが、市の認識を問う。

ウ 第7期計画の重点とする課題は。

(3) 地域ケアシステムを京田辺市としてどのように確立していくのか。そのための課題は。

3 福祉タクシー等利用支援事業の増額を

外出困難な障がい者に対し、タクシー料金及び自家用自動車の燃料の代金の一部を助成することにより、障がい者の生活行動範囲の拡大及び社会参加の促進を図り、福祉の増進に寄与することを目的とする事業は大変喜ばれて利用されている。しかし、事業がはじめられたころと比べるとタクシー代も上がり、通院に使う等で1か月1,000円、1年で12,000円では足りないのが現状である。助成額の増額を求める声が大きくある。ぜひ検討を。

1 景観・環境保全について

- (1) 本市玄関口でもある国道307号大阪府界から旧307号までの道路環境と景観をどのように感じているのか。そして、その景観や安全対策について、京都府など関係機関にどのような改善要望をしているのかを問う。
- (2) 一休ヶ丘住宅地に隣接する砂利採集や再生処理プラントから発生する粉塵・振動・騒音について、これまでどのような指導と対策を講じてきたのか。また、今後の対応などを問う。
- (3) 土木工事で発生する残土などが、安易に運搬され仮置きするという行為が見受けられるが、本市の条例（京田辺市土採集事業規制に関する条例、京田辺市生活環境基本条例）に、仮置き行為についても規制する事項を追記改正し、指導すべきである。本市の考えを問う。

2 少子高齢化社会に対応した「まちづくり」について

- (1) 子どもやお年寄りが、安全で外出しやすい環境とするためのまちづくりが必要と考えるが、本市の具体的計画と考えを問う。
- (2) 特に、生活道路である旧307号の安全対策は田辺地区のまちづくりを行う上で重要な動線である。早期に歩車分離構造への改良と大型車輛の通行規制、公共交通の利便性を図るべきである。本市の考えを問う。
- (3) 薪幼稚園や薪小学校を通過する道路（手原川～旧307号）は、歩道の段差解消と歩道幅員を拡張し「ゾーン30」を指定出来る道路構造にすべきと考えるが、本市の考えを問う。

3 自然環境保全について

- (1) 「生物多様性国家戦略2012-2020」により行動計画が定められ、各自治体での地域戦略の策定などの目標が示されている。本市においても環境省が求める生物多様性の4つの危機、「①開発など人間活動による危機、②自然に対する働きかけの縮小による危機、③人間により持ち込まれたものによる危機、④地球環境の変化による危機」など現状と課題を整理し、本市としての行動計画を策定すべきと考える。また、これまでの取り組み状況について問う。
- (2) 本市における希少野生生物の実態把握や保全に向けた計画と市民・団体への支援などの考えを問う。

4 既存のアスベスト対策について

本市が管理する施設において、現在もアスベスト製品として存置されている施設での飛散防止対策の現状と今後の対応について問う。

1 北陸新幹線京都南進計画について

- (1) 京都大阪間に、2つ目の新幹線ルートがそもそも必要なのか。その必要性及び市民生活にとっての効果と影響について、市長の見解を明らかにされたい。
- (2) 北陸新幹線延伸計画全体では、事業費見込み額は現時点でも2兆1千億円とされている。今後、数十年間にわたって莫大な公費を投入することの、そもそもの是非について、市長の見解を明らかにされたい。
- (3) 市北部の松井山手駅に接続する新幹線新駅建設が打ち出されている。
- ア 新幹線新駅建設が及ぼす市民生活への影響について、どのように考えているのか。
- イ 新駅建設が、今後の京田辺市のまちづくりに与える影響について、どのように考えているのか。また京都府は、去る4月28日の府議会環境・建設交通常任委員会で本市のマスタープランの変更に言及しているが、それへの見解を明らかにされたい。
- ウ 新駅建設に関わる地元自治体負担について、新駅周辺整備も含めた場合、どのくらいの見通しになるのか、本市財政への影響について合わせて明らかにされたい。
- エ JRは新幹線建設に伴い「並行在来線」の経営分離、縮小などを進めている。片町線へ与える影響と、片町線の改善、充実の見込みについての見解を明らかにされたい。
- (4) 北陸新幹線京都南進計画に対する市民の意見は様々であり、計画そのものや京田辺市に与える影響など、数多くの課題がある。よって「推進ありき」という姿勢は根本から改めるべきと考えるが、市長の見解を問う。

2 小中学校における食育と学校給食について

- (1) 小学校、中学校における、それぞれの食育の現状、成果と課題について明らかにされたい。
- (2) 小学校における食育において、学校給食が果たしている役割について、明らかにされたい。
- (3) 中学生を対象にした食育推進のための方針と具体的な計画、取り組みを明らかにされたい。
- (4) 中学校における食育推進にとって、中学校給食を実施することが重要な役割を果たすと考えるが、教育委員会の見解を明らかにされたい。
あわせて、一日も早く中学校でも小学校と同様の学校給食を実施する事を求める。

1 公共交通について

- (1) 超高齢化社会が目前に迫り、交通弱者が増え交通の利便性の向上が求められている。しかし以前より不便になっている状況があり、市はバスの利便性の向上についてどう進めようとしているのか。
- (2) 年金が削られるなど暮らしが厳しい中で、移動の権利を保障するためにも、低額でバスに乗れるようにすべき。
- (3) 広く市民から公共交通・バス問題について、アンケートをとり、市民が何を望んでいるか、しっかり把握することを求める。
- (4) 「京田辺市バス交通等検証委員会」では、負担金路線が話題の中心になり、京田辺市全体のバス問題について充実した討議をしてほしいという声があるが、今後どのように進めようとしているのか。

2 中小企業を応援し地域企業の活性化を

- (1) 地域経済の活性化のためにも「住宅リフォーム助成制度」を求める。
- (2) 市内の中小企業を応援するために、バリアフリー助成制度を個人の住宅にも適用すべき。また利子補給制度についても業者の利子負担をゼロにすることを求める。
- (3) 人間らしく働くことができる労働条件を保障する公契約条例の制定を求める。

3 障がい者施策について

- (1) 「障害者差別解消法」が施行されたが、京田辺市では具体化がどう進められているのか、また課題について市の考えは。

(2) 手話を言語として普及させるための「手話言語条例」の制定が全国に広がっている。聴覚障がい者とそれ以外の住民が尊重し合い、共生することを目的にしている「手話言語条例」の制定を求める。

(3) 障がい者への福祉医療費助成制度（障）の充実について。

4 地元要求について、JR大住駅の充実について

(1) 大住駅の朝のラッシュ時に駅員がいない現状であり、事故が起これば対応ができない事態になっている。人員の配置をすべき。

(2) 大住駅のホームにベンチを増やしてほしい。

1 路線バスの減便と見直しについて

- (1) 京阪バスの減便は市民サービス低下だ。
- (2) 福祉の視点からも減便後の点検・改善をせよ。
- (3) バス利用の高齢者全員に運賃の補助をすべきだ。

2 夜間中学設置について

- (1) 義務教育機会確保法の成立後、市教委はどのように準備をしているのか。
- (2) 文科省の夜間中学周知ポスターの活用について。
- (3) 日本語教室への支援をどのように行うのか。

3 甘南備園建て替え問題について

- (1) 市民に大切な情報の公開が不十分だ。安全性も含め、現状の説明を全市民に行うべきだ。
- (2) 一部事務組合を選択する過程を問う。
- (3) 枚方市東部清掃工場の焼却施設を京田辺市も管轄する事となった。当初の単独と広域の試算ではなくなってくると思うがどうか。